



2022年 5月31日

日本鉄道労働組合連合会

## JR連合「第24回医療連絡会」

# 処遇をはじめ医療現場の現状・課題を共有

JR連合は5月21日、第24回医療連絡会をWEB開催した。当日は、JR大阪鉄道病院、名古屋セントラル病院の医療従事者など10名が出席し、医療現場の現状と課題について意見交換を実施した。

冒頭、連絡会を代表して梅村昌人代表幹事（JR西労組中央本部医療部会長）が挨拶し、「感染者数が高止まりの状況にある中、政府からはマスクの不要や海外渡航規制の緩和に対する見解が示されるなど、感染対策と経済活動の両立にむけて社会は動きつつある。必ず明るい未来が待っていると信じ、我々も手綱を緩めることなく、日々の業務に専念していこう」と呼び掛けた。

続いて事務局から、前回の連絡会以降の経過として、JR産業の現下の状況と政策課題の解決に向けた取り組み、連合「医療・福祉部門連絡会」の取り組みへの参画等について報告を行った後、出席者から、医療現場の現状について報告を受けた。従前からの慢性的な人手不足に加え、コロナ禍で離職者の増加も相俟って疲弊する現場の窮状、医療従事者の負担増や処遇改善に対する悲痛な声を受け、今後JR各単組での労使交渉や連合の政策要望事項への反映に繋げていくことを確認した。その後、次期連絡会体制（下表参照）を確立し、診療報酬改定に起因する医療従事者の処遇改善をはじめ、医療・介護に関連する情報等を前広に共有していくことを確認し終了した。



第24回医療連絡会（WEB開催）

JR連合医療連絡会 次期体制

役職	氏名	所属機関
代表幹事	梅村 昌人	JR西労組中央本部医療部会長
副代表幹事	山根 唯	JR東海ユニオン病院総支部

# 連合「医療・介護フェス2022」に全国の医療・介護従事者が参画

また、同日は「命を預かる仕事に見合う賃金を！」をテーマに、「連合アクション 医療・介護フェス2022～安心と信頼の医療と介護中央集会～」がWEB開催され、医療連絡会の出席者が参加した。

フォト・ビデオメッセージ「医療・介護・福祉現場の最前線で働く仲間へエールを送ろう！」による取組紹介が行われた後、芳野友子会長は挨拶で、「誰もが安心して暮らし、働き続けるためには医療・介護の充実が不可欠」としたうえで、「医療・介護従事者の尊厳をまもり、従前からの課題であった処遇改善に不断に取り組み、ディーセントワークを確保のうえ、将来に亘って人財が集まる医療・介護職場を構築していかなければならない。医療・介護フェスを契機に処遇をはじめ、山積する課題の解決にむけ、すべての働く仲間とともに歩を進めていこう」と決意を述べた。



連合 芳野会長あいさつ



現場からの声を踏まえたトークセッション

その後、医療・介護現場の声を踏まえたトークセッションでは、長期化するコロナ禍の中、医療・介護現場で働く者の労働環境や処遇のさらなる改善の必要性を訴える各代表者の悲痛な声を受け、労働組合は今こそ存在意義を発揮し、医療・介護現場で働く仲間と寄り添い、その尊厳をまもる取り組みについて追求していくことを全体で確認した。